<table>
<tr><td rowspan="2">科目区分</td><td rowspan="2">基礎分野</td><td>科目名</td><td>物理学</td><td>対象学生</td><td>第１学年</td></tr>
<tr><td>単位数（時間数）</td><td>１単位（30 時間）</td><td>学　　期</td><td>第１学期</td></tr>
<tr><td>担当講師</td><td colspan="3">（院外講師）</td><td>実務経験</td><td>有</td></tr>
<tr><td>科目目標</td><td colspan="5">１．物理学的な物の見方、考え方を学ぶ。
２．看護に役立つ物理学の知識を身につけ、物理的ものの見方、考え方が関係する事象を理解できる。</td></tr>
<tr><td>授業計画</td><td colspan="5">第１回　物理で扱う力とは（１）(講義)
第２回　物理で扱う力とは（２）(講義)
第３回　重いものを持つにはどうしたらよいか(１）（講義)
第４回　重いものを持つにはどうしたらよいか(２）（講義)
第５回　看護ボディメカニクスの物理（１）（講義)
第６回　看護ボディメカニクスの物理（２）（講義)
第７回　看護ボディメカニクスの物理（３）（講義)
第８回　身近な圧力(１)(講義)
第９回　身近な圧力(２)(講義)
第 10 回　身近な圧力(３)(講義)
第 11 回　呼吸器と吸引の物理　（講義)
第 12 回　点滴静脈注射の物理（１）(講義)
第 13 回　点滴静脈注射の物理（２）(講義)
第 14 回　循環器の物理　（講義)
第 15 回　終了試験</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="5">筆記試験</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="5">看護学生のための物理学　医学書院</td></tr>
<tr><td>講師からのメッセージ</td><td colspan="5">１．物理学では、公式を覚えるよりも基本的な概念(特に力の動き）を理解する。
２．毎回、レジュメを渡すので、講義内容や教科書を理解する参考にする。
３．毎回、感想カードを渡す。それに感想のほか質問や講義内容の要点を書く。
４．出来るだけ演示実験を行なう。学生は、章末問題にチャレンジする。
５．課題を出すので、分からなかったら、友達同士で議論して、教え合う。</td></tr>
</table>